

2021年6月に完全制度化となる“HACCPに沿った衛生管理“に向け
人手不足に悩む、食品衛生検査の業務を自動化で課題解決
「3M™ ペトリフィルム™ プレートリーダー アドバンスト」新発売
～検査の迅速性、正確性を高め、リモートによる分析も可能に～

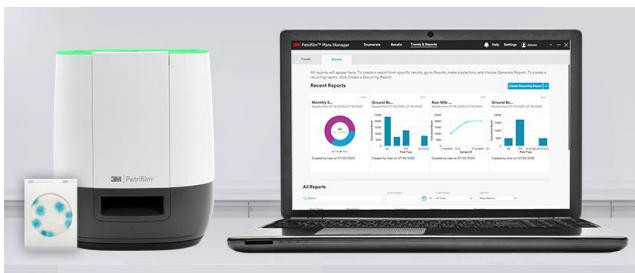
スリーエム ジャパン株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：昆 政彦）は、3月22日から、食品の微生物検査の測定を自動で行う検査機器「3M™ ペトリフィルム™ プレートリーダー アドバンスト」を発売します。



今まで食品衛生検査は、細菌等の微生物をシャーレと寒天培地で目視できる大きさに培養し、経験豊富な検査員が寒天上で培養したコロニーの数を測定するといった方法が長く採用されてきました。しかし、年々食品衛生検査の件数が増加するものの、検査員の人材確保が難しくなり、常に現場では人手不足といった課題を抱えています。また、2021年6月に完全制度化する“HACCPに沿った食品衛生管理”も加わり、検査の効率化は必須となっています。そこで、誰でも簡単に実施できる、迅速で正確な検査方法への注目が高まっています。

「3M™ ペトリフィルム™ プレートリーダー アドバンスト」は、3M™ ペトリフィルム™ 培地のプレート10種類に対応し、1枚のプレートを6秒以内で、正確に細菌や微生物の数を自動で測定するため、経験豊かな検査員でなくとも迅速で正確に測定ができます。測定後のデータは、基準値に対する合否判定、毎日・週・月・年単位で定期的な報告書、蓄積したデータを用いた傾向分析等、さまざまな活用ができ、ネットワーク上のパソコンからアクセスしてデータを確認することも可能です。

新製品の導入で、食品衛生検査の現場課題の解決と、国内での食品衛生管理製品の売り上げの2桁成長を目指します。



〈製品の特長〉

■生産性

プレート1枚あたり6秒以内に測定

■正確性

プレートを差し込むだけでコロニーを自動計測
人為的なミスを防止

■データ活用

測定結果は付属のソフトウェア内で管理
グラフ化、報告書作成を行えます
別のパソコンからもアクセスでき、リモートでの
分析が可能

■コンパクトなサイズ

検査室の小さな作業台にも設置が可能

〈担当者の声〉


金 珉志 / Minji Kim

スリーエム ジャパン株式会社 フードセーフティ製品事業部

ここ数年、食品衛生検査の測定器への需要が高まり、既存品の売り上げが伸びていました。その背景には、検査数が増加する一方で、検査に従事する人材の深刻な人手不足がありました。そこで、更にお客様のニーズにお応えするため、測定可能なプレートを6種類から10種類に増やし、専用ソフトで分析できることも増やしました。

また、昨今の社会状況から検査員の出社が困難な状況の中、別のパソコンからデータベースにアクセスすることもできるため、リモートでの分析を可能にしました。

〈3M™ ペトリフィルム™ プレートリーダー アドバンスド 製品概要〉

製品画像	寸法 (本体)	重量 (本体)	・3M™ ペトリフィルム™培地 測定対応製品	メーカー 希望小売価格 (税別)
	H 257 mm W 218 mm D 214 mm	約 4 kg	<ul style="list-style-type: none">・生菌数測定用プレート (AC)・生菌数迅速測定用プレート (RAC)・腸内細菌科菌群数測定用プレート (EB)・大腸菌測定用プレート (SEC)・大腸菌群数測定用プレート (CC)・E.coli および大腸菌群迅速測定用プレート (EC)・E.coli および大腸菌群迅速測定用プレート (REC)・カビ・酵母迅速測定用プレート (RYM)・黄色ブドウ球菌測定用プレート (STX)・黄色ブドウ球菌測定用ディスク (STX+Disk)	1,150,000 円

※3M™ ペトリフィルム™培地は、別売りです。

【製品紹介ページ】

<http://go.3M.com/PPRAdvanced>

【3M™ ペトリフィルム™ 培地について】

日本で1985年に発売されて以来、画期的な検査製品として食品加工業界に変革をもたらしています。米国では食品加工会社の上位100社のうち90社が採用し、衛生指標菌検査を行っています。国内でも、食品メーカーをはじめ多くの企業に採用されています。

3M、ペトリフィルムは、3M社の商標です。

プレスリリースに掲載している内容は発表時点の情報です。

最新の情報とは異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

【3Mについて】

3M(本社：米国ミネソタ州)は、人びとの日々の暮らしをより豊かにするために、世界中のお客様と連携しながら、サイエンス(科学)を活用しています。グローバルな課題の解決に向けて、3Mが取り組んでいる創造的なソリューションの詳細は、www.3M.com または Twitter の @3M、@3MNews をご覧ください。また、3Mジャパングループについては www.3mcompany.jp をご覧ください。

【本件に関する報道関係の方のお問い合わせ】

スリーエム ジャパン株式会社 フードセーフティ製品 PR 担当

(株)インテグレートコミュニケーションズ 担当 村山

TEL: 03-5464-2046 FAX: 03-5464-2076 amurayama@integrate-com.co.jp